



都島中学校

所在地	〒534-0027 都島区中野町3-9-33		
電 話	06-6352-6241	F A X	06-6352-6064
H P	http://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=j522032 ※「大阪市立都島中学校」で検索してください。		
校長名	渡邊 進司		



校区は、JR環状線桜ノ宮駅、地下鉄谷町線都島駅を含む都島区内の中心部分を占めるエリアにあります。中野連合振興町会と西都島連合振興町会の2つの町会からなり、地域から大きな協力をいただいております。

本校は、昭和33年4月に開校し、60年以上の歴史があります。また、令和2年10月に南館の建替え、令和5年3月に西館の建て替え工事が完了し運動場の整備も完了しました。新しい校舎を大切に使いながら、生徒たちは元気に明るく学校生活を送っています。

学校教育目標は、

- (1)「ともに学び、ともに育ち・ともに生きる」教育を推進する
- (2)人権尊重を基盤とした、自己肯定感を育む教育を推進する
- (3)総合的な読解力を育成し、感性を磨き学び続ける集団の育成に努める

以上、三点を掲げています。また、本校の伝統である『あいさつと掃除』も、生徒会の重点目標として実践しています。教職員一同、新入生の皆さんの入学を心待ちにしています。

校長 渡邊 進司

● 「運営に関する計画」の概要

現状と課題

本校は、「大阪府中学生チャレンジテスト」において、全国や大阪府・大阪市の、平均あるいはそれ以上の結果を残している。「共に学び・共に育ち・共に生きる」方針のもと、地域の学校の役割として、すべての生徒の学びの場を保障することを学校目標の中心にしている。

令和7年度に向けて、ICTを学習基盤とし、Society5.0における探究的な学びの場を設け、学習意欲の向上をめざしている。生徒が時代の課題に向き合い、一人ひとりが自らの力を最大限伸ばす環境を整える。そして、協働学習をとおして、生徒が互いに異なる意見を交流し、答えを導き出す自立した学びの姿勢を養う。将来に希望を持ち、未知なる課題を解決できる創造的な能力を育成する。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を90%以上にする。
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・毎年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を、毎年増加させる。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答をする生徒の割合を70%以上にする。
- ・中学生チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対照比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査におけるCEFR A1レベル相当以上の英語力を有する中学校3年生の割合（4技能）を60%以上にする。
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答をする生徒の割合を70%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・ICTの活用に関する目標 令和7年度には、一人一台パソコンを、デジタル教材または家庭学習または協働学習支援ツールなどを用いて、毎日活用する。
- ・教職員の働き方改革に関する目標 学校開庁日を5日設定する。

【その他・教育コミュニティづくりの推進（家庭・地域等と連携・協働した教育）】

- ・特別支援教育の充実に伴う学校安全体制を構築し、人権尊重の意識の高い生徒の育成に努める。
- ・日常生活の中で、自他の生命と尊厳を互いに尊重し合う態度や自他の人権を守る実践行動へとつなげることでできる生徒を育成する。
- ・生徒が活力のある地域文化にふれ、芸術を通じ、豊かな創造性をはぐくむ。また、将来地域と共に歩み、地域社会の担い手となる人材を育成する。

● 学力の状況と学力向上に向けた取組

令和5年度「全国学力・学習状況調査」結果

○平均正答率(%)

国語	数学	英語
69	58	50

○結果の概要

＜国語＞全国平均と比べると0.8ポイント下回り、大阪市平均と比べると2ポイント上回っている。領域の平均正答率は『読むこと』の全国平均が1.1ポイント上回った。

＜数学＞全国平均と比べると7ポイント上回り、大阪市平均と比べても9ポイント上回っている。領域の平均正答率は『図形』『関数』『数と式』『データの活用』全ての項目で平均を大きく上回っている。平均無回答率は全国よりも0.6ポイント低く、粘り強く最後まで考えることができる生徒が多いことがわかる。

＜英語＞全国平均と比べると4.4ポイント上回り、大阪市平均と比べても6ポイント上回っている。領域の平均正答率は『聞くこと』『読むこと』『書くこと』全ての領域で平均を大きく上回っている。平均無回答率は全国よりも0.9ポイント低い。

取組の成果と課題、アクションプラン

インクルーシブ教育の視点をベースに、多様な生き方を尊重し、社会の課題について自分事として考え、自分なりの考えを表現する力を育成する。人権学習、平和学習、国際理解学習等とおして、自他ともに大切にしたい思いやりのある姿勢を養う。

例年、3年生で実施する全国学力学習調査では、全国・大阪府・大阪市と同等もしくは上回る結果となっている。朝の時間を活用し、「新聞にチャレンジ」「朝読書」「絵本の読み聞かせ」等の学習を継続・発展させ、読解力や創造力を向上する。デジタルとアナログの情報を偏りなく活用し、玉石混交の情報の中から、確かな出典の必要な情報を入手し、根拠を用いて説得力のある論理的な意見を述べる力を育成する。

さらに、SDGsについて学び、学校行事や生徒会活動において、授業で学んだ知識を活用し、持続可能な社会の実現に向けて地域や社会に貢献する姿勢を養う。

● 体力の状況と体力向上に向けた取組

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果

○種目別平均値

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	持久走	20mシャトルラン	50m走	立幅とび	ちびだす投げ	ハンドボール投げ	体力合計点
男子	29.50	24.24	44.85	53.83	—	69.51	7.98	179.83	21.88	50.80	
女子	24.35	21.62	52.33	49.73	—	49.43	8.95	162.57	12.39	52.30	

○結果の概要

全国平均に比べ体力合計点は男女ともに超えている。20mシャトルランが全国平均を下回った。全国と比べると、男子は上体起こしが1.58点であった。男女ともに前述の項目以外はすべて全国平均を超えている。文武両道で心身ともにバランスの取れた成長を促進する。

取組の成果と課題、アクションプラン

今回の結果をふまえて、特に全国平均に比べて下回っている心肺持久力、筋持久力を高める必要があることがわかった。心肺持久力を高める手立てとして、なわとびトレーニングなどを取り入れていく予定である。

● 土曜授業等の内容

※状況により日程変更や中止する場合があります

予定なし

● 各種活動成績等

音楽部が全国大会に出場した。

【学力と体力の状況調査については18ページに全国・大阪市平均を掲載。ご参照ください。】



六 菱 祭



ス ポ ー ツ 大 会



1 年 合 唱 コ ン ク ー ル

○卒業後の主な進路（令和5年度）※カッコ内は進学者数。

【国公立】旭 (5)、市岡 (8)、桜宮 (4)、東 (5)、芦間 (3)、大阪ビジネスフロンティア (3)、汎愛 (3)、枚方なぎさ (3)、守口東 (3)、淀川清流 (3)、大手前、桜和、四條畷、清水谷、成城、長吉、西野田工科、寝屋川、都島工業、柴島、北野、工芸、高津、吹田、水都国際、天王寺、夕陽丘、淀商業、淀川工科、桃谷(通信)、光陽支援、なにわ高等支援 (71名)
 【私立】興国、大阪薫英女学院、大阪女学院、大谷、金蘭会、好文学園女子、プール学院、上宮、英真学園、大阪 (3)、大阪学院 (3)、大阪国際、大阪信愛学院 (3)、大阪電気通信大学、大阪桐蔭、近畿大学付属、四條畷学園、常翔学園、太成学院大学、東海大学付属大阪仰星、桃山学院、基督教独立学園、関西学院高等部、雲雀丘学園 (34名)
 【その他】N高等学校、S高等学校、ルネサンス大阪 (3)、八洲学園(通信)、YMCA学院(通信)、英風女子高等専修学校、おおぞら高等学院、大阪eゲームズ高等学院、東朋高等専修学校、海外留学 (15名)